

国際色覚学会エクスカージョンの荒浜小学校視察にて通訳(2015.7.5)

梅雨の合間の遠足日和の午後、学会 (ICVS2015) のエクスカージョンで150名の方々(半数が海外からの参加者)が津波の被害にあった仙台市内の荒浜小学校を視察しました。現地で仙台市の方の説明をGOZAINの3名が通訳しました。通訳は、小笠原、高橋(昌)、佐藤が担当しました。

7月5日(日)12:30 東北大学片平キャンパス・さくらホール前に集合、一同記念撮影。

13:00 3台の観光バスに分乗して出発。13:30 荒浜到着。荒浜小学校にて仙台市の方と合流。2班に分かれて、仙台市の方から説明を受けました。震災当時の被災状況、屋上に避難した方々の様子、翌朝全員が救助されたこと、屋上からの被災地区の現状、着々と進められている減災対策の様子など。GOZAINの3名が、分担して通訳しました。その後三々五々、荒浜慈聖観音像や慰霊碑などを視察。

14:40 頃荒浜地区を出発し、仙台港後背地を北上。15:10 無事、塩竈マリングートに到着。予定通り通訳・案内を終えることができました。ご一行様は、その後松島湾クルーズを堪能されるご予約。通訳一行は、本塩釜駅まで観光バスで送ってもらい、MANGATTANのJR SENSEKI LINERで帰仙しました。

普段は、立ち入りが難しい荒浜小学校の視察という貴重な体験をすることができまして、ICVS2015関係者の皆様、ご説明いただいた仙台市および関連の方々に深く感謝いたします。



これから始まるエクスカージョンを前にICVS2015参加者全員の記念撮影。
左手前に通訳3名。



荒浜小学校の校庭で仙台市の方の説明を通訳する小笠原さん。



校庭にて。一グループ目が校舎内で説明を受けている間に関係者が逐次今後の進め方を打ち合わせ。



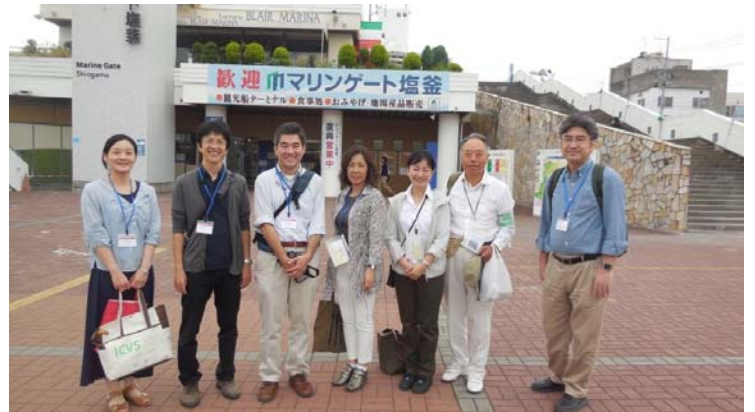
被災地が一望できる小学校屋上にて。参加者の鋭い質問に丁寧に回答する高橋さん。



荒浜の視察を終えて、情報交換する参加者の皆さん。



無事塩竈港到着、しばしの休憩。
いよいよ松島湾クルーズへ。



時間のやりくりをして荒浜小学校の視察を無事終了。
通訳の解散を前に笑顔で“ZUNDAMOCHI”。



JR SENSEKI LINER “MANGATTAN”